

平成30年度「かぐや姫の里の集い」の実施報告

—「とやまの竹資源ネットワーク講習会」も同日開催—

1 概要

竹林の適切な管理や利活用の方法を学ぶため、竹林整備後に発生する再生竹伐採の重要性について理解する現地講習、安全な竹の伐採方法を学ぶ現地実習と、竹林の利活用の一環として普及を図ってきた「穂先タケノコ」の利活用事例についての講演会を実施しました。



2 日時・場所

(1) 日時 平成30年10月20日(土) 10:00~14:30

(2) 場所 砺波市頼成地内「県民公園 頼成の森」

3 参加者数 120名 とやまの竹資源ネットワーク会員、里山再生整備事業実施地区住民、とやまの森づくりパートナーセンター登録団体会員 外

4 実施内容と活動状況

(1) 「穂先タケノコ」利活用事例の講演と(株)中越パルプ工業の取組紹介



「穂先タケノコ」の集荷、保存加工、販売を実践されている(株)石田組の取組内容を講演頂きました。



長期保存可能かつ里山地域でも簡単に実施できる手法として、乾しタケノコの作成事例を紹介しました。



「穂先タケノコ」の保存方法について、作成見本を展示のうえ理解を深めました。



「穂先タケノコ」の成分について、森林研究所 大宮研究員から解説しました。



昼食時に「穂先タケノコ」が入った汁物を提供し、食味などに理解を深めました。



中越パルプ工業株式会社より「かぐやの竹利用応援事業」など自社の竹材利用に関する取り組みの説明がありました。

(2) 竹の伐採の安全講習と再生竹伐採の実習、及び現地講習会



安全な竹の伐採方法について学びました。



再生竹の中でも細竹を伐採する重要性について森林研究所 大宮研究員から解説しました。



再生竹の伐採を実習し、地域での活動に活かして頂きます。